

面付引戸自動施錠 取付説明書



このたびはNAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。

引渡し時に、本紙：取付説明書と別紙：取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。

締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

梱包一覧

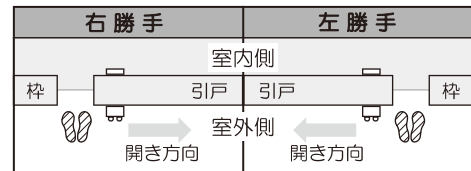
※組立前に部品が揃っているかご確認ください。

A 本体 1 ※注1	B HAM錠・室内座セット 1	C カバー 1	D 本体スペーサー 1	E 樹脂ベース 厚さ2.0mm 1 厚さ3.5mm 1 厚さ4.5mm 1	F 本体固定ねじ 丸皿小ねじM5×50 2	G 面付受座 1	H 面付受座裏板 両面テープ 各1	I 受座スペーサー 厚さ1mm 2 厚さ3mm 1	J 膨込 アタッチメント 1
K 皿小ねじM4×25 4	L 皿コンビねじM4×25 皿コンビねじM4×40 各4	M アジャストプレート 1	N アジャストスペーサー 厚さ1mm 2 厚さ3mm 1	O M4 六角ナット M4 平ワッシャー 各4	P トラスタッピンねじ A1・M4×20 5	Q 取扱説明書 1	R Qの袋に同梱 ※注2登録消去シール 1 解錠方向シール 1	S 取付説明書 切欠図 各1	T キー 2

※注1：本体には、[1] 鍵なし、[2] 鍵付き、[3]MWA 対応品、[4]GOAL 対応品の4種類があります。 ※注2：登録消去シールは任意でお貼りください。

1 取付準備

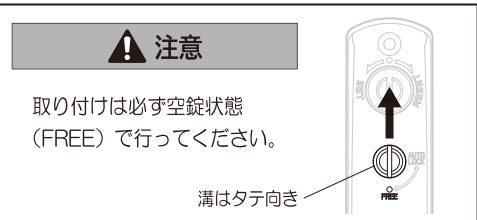
1 開き勝手の確認
下図で引き戸の開き勝手の確認をします。



本体（ボタンがある面）を取り付ける側から見て、戸を右に開ける …… 右勝手
本体（ボタンがある面）を取り付ける側から見て、戸を左に開ける …… 左勝手

2 (左勝手の場合) B HAM錠・室内座セットを開き勝手にあわせる

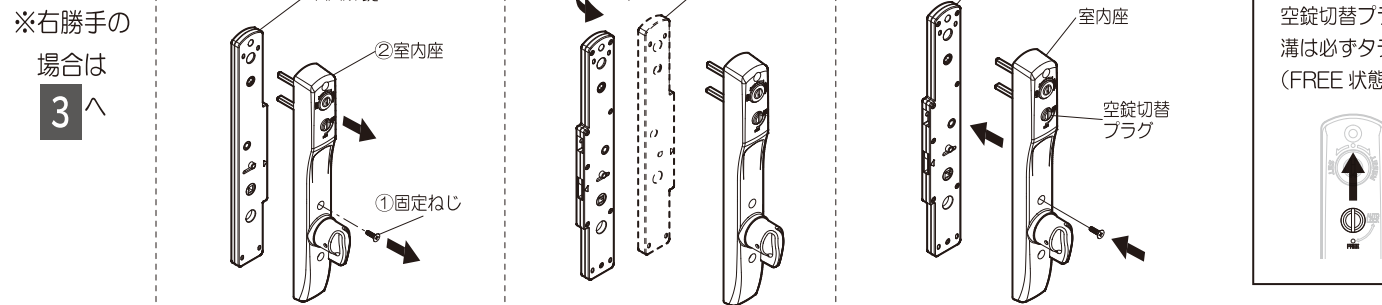
※工場出荷時は右勝手になります。
左勝手への変更は、下記の操作にて行ってください。



3 (右勝手の場合) 3 1 HAM錠から1固定ねじ、2室内座の順に外します。

2 HAM錠を反転させます。

3 HAM錠に室内座をセットします。固定ねじで固定します。



注意
空錠切替プラグの溝は必ずタテ向き (FREE 状態)

3 引き戸への取付穴加工

引き戸と枠の納まりを、裏面 **4** 面付受座の取付 でご確認ください。

注意 (鍵付き本体の場合)
本体とハンドルの隙間は 100 mm 以上開けて下さい。
キーの操作ができなくなります。

2 引き戸への取付穴加工

A 本体・G 面付受座の取り付け穴加工をします (別紙 切欠図 参照)。

3 本体の取付

※本図は右勝手仕様です。左勝手は対称です。

1 本体にカバーを取付けます。
(カバーを使用しない場合は、本体スペーサーを取付けます。)

1 C カバーを開けた状態で、本体に被せます。

2 カバー裏側の凸凹を本体裏側のくぼみに合わせてはめ込んでください。

注意
取付は必ず空錠状態でおこなってください。

カバーを使用しない場合
D 本体スペーサーを本体側のくぼみにあわせてはめ込んでください。

2 引き戸の室外側に、本体をセットします。

注意
鍵付タイプでは、キーを抜いた状態でセットします。

3 室内側から「HAM錠・室内座セット」をセットします。

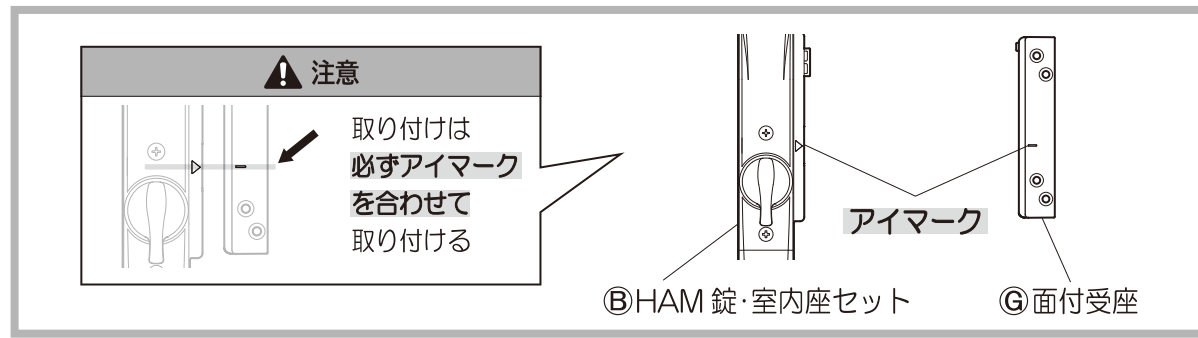
注意 1 カム穴に合わせて角芯棒を回転させ、セットしてください。

注意 2 E 樹脂ベースの厚さ 4.5mm は必ず使用します。厚さ 2.0mm と、3.5mm は室内座の高さ調整にお使いください。

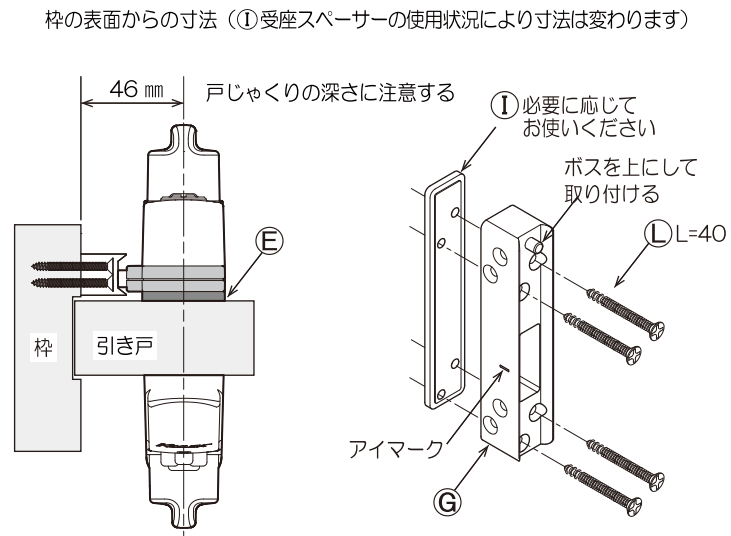
4 F 本体固定ねじ 2本で固定します。

④ 面付受座の取付

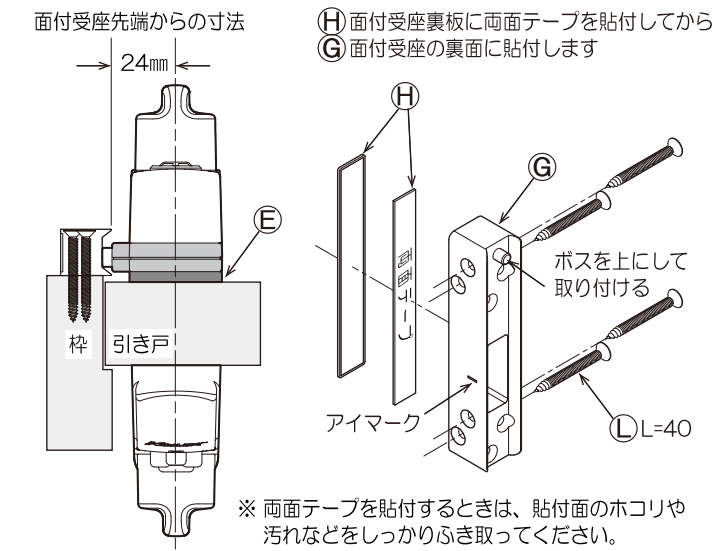
Ⓔ面付受座を取り付けます。納まりにあわせて Ⓕ~Ⓗを使い分けます。



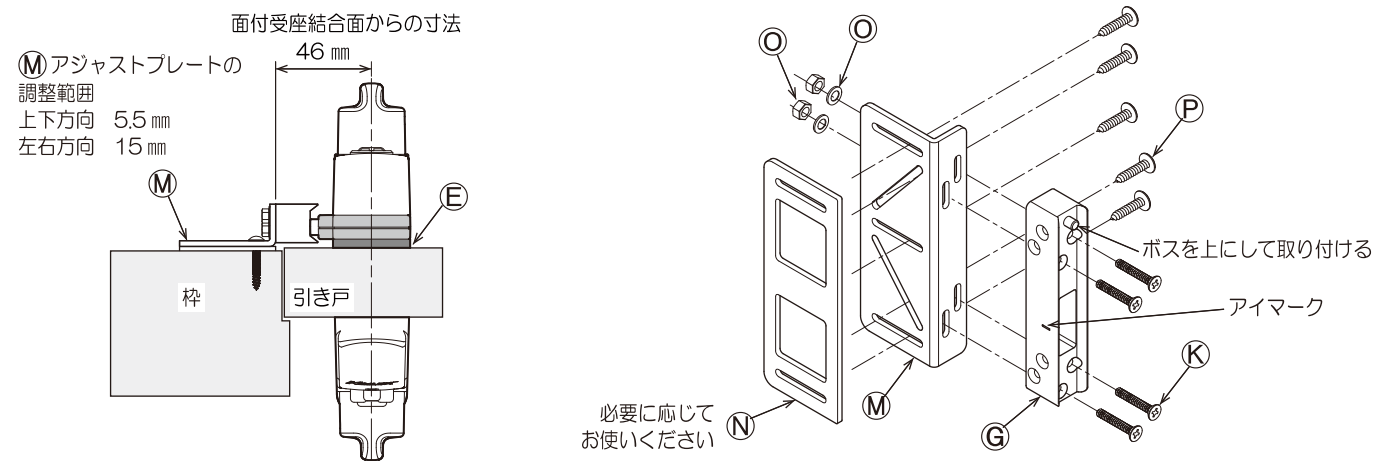
【取付例：Aパターン】



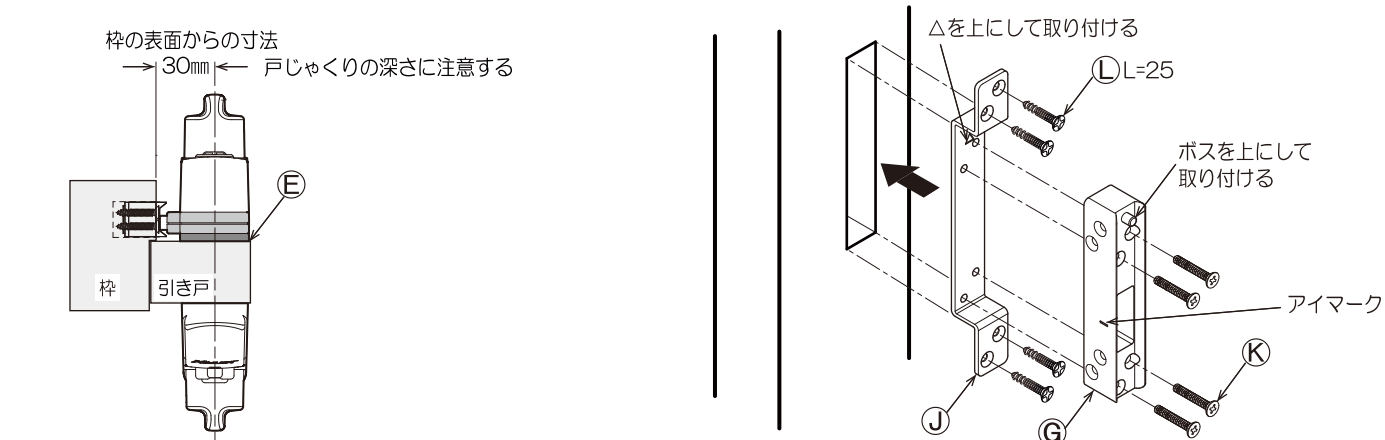
【取付例：Bパターン】



【取付例：Cパターン】



【取付例：Dパターン】



⑤ 作動確認

『FREE』から『AUTO LOCK』へ切り替えて、HAM錠の作動確認をします。

注意

- ❶ 作動確認は必ず引き戸を開けた状態で操作します。
- ❷ 解錠操作をせずに本体側のロックターンを操作すると空転します。

1 『FREE』から『AUTO LOCK』への切り替え

❶ 本体側のロックターンを回転させたまま保持します。

❷ 室内座の空錠切替プラグをコインなどで回転させ『FREE』から『AUTO LOCK』(左回転)に切り替えます。

注意

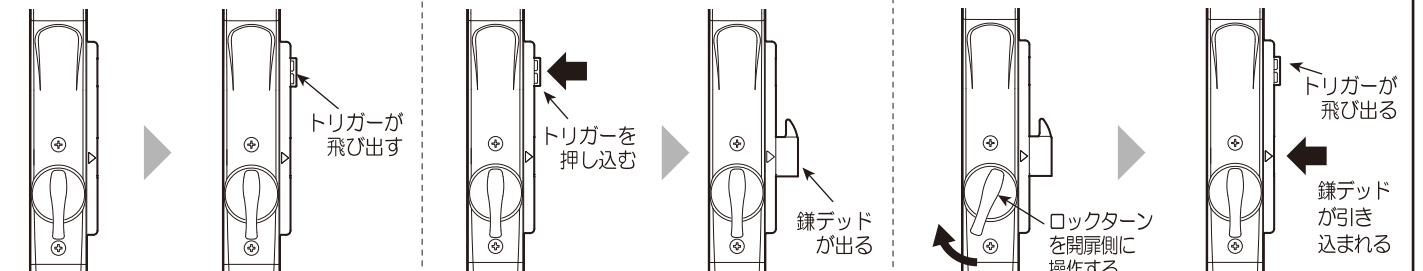
- ❶ プラグの溝がヨコ向き(AUTO LOCK状態)になります。
- 溝はヨコ向き

2 HAM錠の作動確認

❶ 1の『AUTO LOCK』に切り替え後、トリガーが飛び出していることを確認します。

❷ トリガーを押し込み鎌デッドが出ることを確認します。

❸ ロックターンを回転させると、鎌デッドが引き込まれ、トリガーが飛び出すことを確認します。



3 本体の記憶番号で解錠確認をします(別紙取扱説明書「解錠の方法」参照)

Ⓖ解錠方向シールは解錠方向にあわせて必ずお貼りください。

取り付けがうまくいかないときは

症状	考えられる原因	調整方法
引き戸と枠に隙間ができる	閉戸する前にHAM錠が面付受座に当たっている	キーレックスの取付位置を戸尻側に調整する
引き戸を閉めても施錠しない	閉戸してもHAM錠が面付受座に当たらずトリガーが押し込まれないため鎌デッドが出ない	方法 ① キーレックスの取付位置を戸先側に調整する 方法 ② ①受座スペーサーでかさ上げする
空錠切り替えがうまくいかない	本体裏側の部品の向きが間違っている	部品の向きを正しい向きに合わせる 左右どちらかに回して穴の向きを「タテ」にする 右に回して穴の向きを「ヨコ」にする



株式会社 長沢製作所
www.nagasawa-mfg.co.jp

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代)
FAX. 03-5967-3103
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 092-524-7032